

SIRE

サイア

平成18年1月20日号
2006 January

Vol.356

1



富良野市 三好牧場



YOGAWA
苫前町 丹羽牧場

CONTENTS

新年のご挨拶

2

新春特別企画

GH種雄牛人気アンケート

豪華
プレゼント
あります!

3

現地だより

祝 第12回全日本ホルスタイン共進会
名誉賞・準名誉賞獲得!

4

海外研修報告 CRI・Genex日常業務同行記①
CRIは常に組合員の収益アップを
考えている組織です。

6

お知らせ

ET試験合格者、AI講習会のご案内

9

海外文献 (光本先生)

カナダにおけるヤングサイアの後代検定の効率

10

サイアピック(乳牛)

JP3H52282 アブナー

12

サイアピック(肉牛)

H黒-45 東 龍

13

種雄牛紹介(乳牛)

JP3H52078 トップドリーム

14

種雄牛紹介(肉牛)

H黒-96 北茂勝96

15

事業所だより

道央北・十勝北見・道東・広域・業務部

16

謹賀新年

新年のご挨拶

社団法人 ジェネティクス北海道
理事長 矢野 征男



2006年の年頭にあたり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。

皆様には、日頃より本団の乳・肉用牛の改良増殖事業推進に当たりまして、特段のご理解とご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと北海道では大きな自然災害などもなく、天候にも恵まれ比較的順調な環境の中、生乳生産量は後半になり前年を上回る順調な伸びを示してきました。しかし、全国的な飲用牛乳の消費減少や脱脂粉乳・バター在庫積み増しなど憂慮される需給状況となっており、牛乳・乳製品の消費拡大の積極的な推進と共に需要に応じた計画的な生乳生産の推進が必要になって参りました。

また、昨今、乳・肉用牛の個体販売価格は高値安定傾向にあります。様々な需給環境の変化に伴う相場の推移に注目していかなければならないと思っております。

さて、本団事業につきましては、乳用種雄牛評価成績において本団種雄牛が好成績を示し、上位40位以内に約半数揃っている状況であり、我が国の気候風土を土台にした後代検定事業から

選抜された優秀な検定済種雄牛を、安心してご利用いただけるよう更なる努力を続けて参る所存であります。

また、道内関係者のご協力のおかげをもちまして、国内における候補種雄牛生産も順調に進んでおります。

一方、黒毛和種種雄牛につきましても、道内関係者のご協力により後代検定事業に取組み始めて十数年を経過し、漸く生産者の皆様へ一定の評価をいただき、優秀な検定済種雄牛の精液をご利用いただけるようになって参りました。

これも、ひとえに乳・肉用牛生産者の皆様と関係者のご指導・ご協力の賜物と心から感謝致しております。

本年につきましても、酪農・畜産経営の向上に少しでもお役に立てるよう、役職員一同一丸となって努力を重ねて行く所存でございますので、引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



本 所 / 〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F
総務部 TEL (011) 242-9644 FAX (011) 242-9650 業務部 TEL (011) 242-9645 FAX (011) 242-9651
改良部 TEL (011) 242-9646-9647 FAX (011) 242-9651 生産部 TEL (011) 242-9644 FAX (011) 242-9650
ホームページアドレス <http://www.genetics-hokkaido.ne.jp>

- 道央北事業所
〒071-8155 旭川市東鷹栖5線10号
TEL (0166) 57-6111 FAX (0166) 57-6113
- 道東事業所
〒086-1100 標津郡中標津町字中標津2104-4
TEL (0153) 72-4554 FAX (0153) 72-1325
- 広域事業所
〒061-1102 北広島市西の里847番地
TEL (011) 375-4395 FAX (011) 375-2330

- 十勝北見事業所
〒089-0103 上川郡清水町字清水5線18番地
TEL (01566) 2-2158 FAX (01566) 2-2150
北見駐在
〒099-1421 常呂郡訓子府町駒里(ホクレン畜産技術研究所内)
TEL (0157) 47-2946 FAX (0157) 47-2950
- 道央種雄牛センター
〒061-1102 北広島市西の里847番地
TEL (011) 375-3939 FAX (011) 375-2330

- 十勝清水種雄牛センター
〒089-0103 上川郡清水町字清水5線18番地
TEL (01566) 2-2158 FAX (01566) 2-2150
中標津分場
〒086-1100 標津郡中標津町字中標津2104-4
TEL (0153) 72-4554 FAX (0153) 72-1325

新春
特別企画

アンケートに答えて、プレゼントをゲットしよう!
GH種雄牛人気アンケート

Q ジェネティクス北海道の牛で、 一番好きな種雄牛は?



ホルスタイン部門

現在活躍中の牛でも、昔懐かしい牛でも構いません。
体型が気に入っている、思い出がある、など好きな理由も自由です。

好きな種雄牛の名前を、
ホルスタイン・黒毛和種からそれぞれ一頭だけお答えください。

また、どちらかだけでも構いません。

お答えいただいた方の中から、
抽選で40名の方にGHオリジナルベンチコート差し上げます!
ふるってご応募ください!



黒毛和種部門



▼応募方法

ハガキ、またはFAXに、
種雄牛の名前(ホルスタイン・黒毛和種から各1頭、どちらかだけでも可)、
郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、下記住所までお送りください。

宛先:〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F
(社)ジェネティクス北海道『サイア アンケート』係 FAX No.011-242-9651
締切:平成18年2月末日消印有効

アンケート結果、
プレゼントの当選者は
サイアVol.357で
発表します。
お楽しみに!

祝 第12回全日本ホルスタイン共進会 名誉賞・準名誉賞獲得!

～名実ともに備わるマウイファミリー、旭川市 加藤牧場より～

大雪山系の麓に位置する上川管内旭川市は、水稻を中心に畑作・野菜・果樹・畜産を基盤としている街です。酪農家戸数はわずか約30戸ではありますが、この街より昨年栃木県で行われた第12回全日本ホルスタイン共進会へ初出場ながら2頭を出品し、両牛とも輝かしい功績を残した加藤孝志・智宏牧場をご紹介します。

○牧場の概要○

父・孝志さんは名寄農業高校卒業後、苫小牧市 溝口牧場での実習を経て牧場経営に携わりました。息子・智宏さんは帯広農業高校卒業後、アメリカ・クレセントミード牧場にて1年間の実習の後に両親の牧場経営に参加しました。

現在の牧場経営は孝志さんご夫妻と智宏さんの3人で行っており、経産牛35頭・未経産牛20頭を飼養しております。牛群平均乳量は10,269kg、

乳脂率3.87%、蛋白率3.38%、無脂固形分率8.80%、また体格審査を毎年受けており平均得点は86.3点と能力・体型ともに全道のトップクラスを維持しております。

○活躍中!マウイファミリー○

現在、牛群で活躍しているマウイファミリーは、平成8年度に旭川市の事業を利用してジェネティクス北海道より4つの受精卵を導入したのが始まりでした。当時のミス マーク マウイは2歳Jr.クラスでオールアメリカンを獲得しており、将来の期待が非常に高かったチーフ マークを代表する娘牛の1頭でした。このマーク マウイからメイソンによる2頭の娘牛を得て、(有)タケダ繁殖クリニック・武田哲男氏のET技術をもとに現在までに約30頭(牛群の半数以上)となり、加藤牧場を支える大ファミリーとなっております。

○全日本共進会への出品!初出場!○

昨年の全道共進会にはこのマウイファミリーから3頭が出品されすべて1等賞入賞、その後の全日本共進会にはこの内の2頭が出場権利を得ました。1頭はマウイの孫グリーンハイツ マーク ダーハム ET(父:ダーハム)、もう1頭はマウイの曾孫グリーンハイツ マーチ マウイ ET(父:BW マーシャル)。マーク ダーハムは準名誉賞・4歳クラス優等賞2席・ベストアダー、マーチ マウイは名誉賞・2歳Sr.クラス優等賞首席・ベストアダーを獲得という快挙を成し遂げました。加藤牧場にとっては初の全共出品で、さらにこの2頭は母娘の関係にあるという非常に稀なケースでありました。2頭はこの上ない日本一の母娘であります。



マーク ダーハム審査時



インターメディアイト名誉賞受賞



写真1 グリーンハイツ マークダーハム ET



写真2 グリーンハイツ マーチ マウイ ET

○今後の目標は?○

最後に今後の目標は?という問いに、「我が牧場のマウイが繁栄したのは長命・連産能力、そしてそれ相応の体型を持っていること、またET技術を駆使する武田先生や関係者のアドバイスがあったからだと思います。無理しない程度に搾乳をし、丈夫で長持ちする・コンスタントに分娩する牛造りをしていきたいです。ショウに関しても、我が牧場のみならず上川管内のレベルが上がるようこれからも精進していきたいと思っております。またこの場をお借りしまして、全共では多くの皆様にご支援いただきまして非常に感謝いたしております。本当にありがとうございました。」

このたびは作業のお忙しい中、快く取材にご協力いただき有難うございました。そして今後の加藤牧場のますますのご活躍・ご繁栄をご祈念いたします。

(道央北事業所 伊藤 克美)

加藤牧場ホームページ <http://www11.plala.or.jp/kdf/>

マウイファミリー系統譜

- ミス マーク マウイ EX-95
 - GH マーク メーフラワー ET 91 (メイソン)
 - GH メーフラワー テリー ET 87 (テスク テリー)
 - GH メーフラワー テレサ ET 90 (テスク テリー)
 - GH エマーソン マウイ 86 (エマーソン)
 - GH メーフラワー テス ET 89 (テスク テリー)
 - GH モーティ マウイ (モーティ)
 - GH メーフラワー ティアラ ET 90 (テスク テリー)
 - GH マーシャル マウイ ET 87 (BW マーシャル)
 - GH メーフラワー ウィング 86 (ウインチエスター)
 - GH マーシー マウイ 85 (BW マーシャル)
 - GH タイタニック マウイ ET (タイタニック)
 - GH ストーリー マウイ (ストーマテイツク)
 - GH ターゲット マウイ ET (タイタニック)
- GH マーク メイソン ET 90 (メイソン)
 - GH マーク セルシア 83 (セルシアス)
 - GH ストーム マウイ 83 (ストーム)
 - GH ガーター マウイ (ガーター)
- GH マーク ダーハム ET 89 (ダーハム) 写真1
 - GH マーチ マウイ ET 86 (BW マーシャル) 写真2
 - GH ティファニー マウイ (タイタニック)
 - GH マーク マウイ ET 85 (BW マーシャル)
 - GH タイラー マウイ (タイタニック)
 - GH ストーマテイツク マウイ ET (ストーマテイツク)
 - GH ストーマー マウイ ET (ストーマテイツク)
 - GH ストリーム マウイ ET (ストーマテイツク)
 - GH ミラクル マウイ ET (ダーハム)
 - GH セファイロ マウイ ET (セブテンパー)
 - GH セリーナ マウイ ET (セブテンパー)
 - GH スティシー マウイ ET (セブテンパー)



左より、智宏さん、孝志さん、満寿美さん



全日本共進会、上川管内の皆様と

CRI・Genex日常業務同行記①

CRIは常に組合員の収益アップを
考えている組織です。

CRIは協同組合を母体にした組織で、牛群検定・飼料や土壌分析・家畜市場の開催等も行っており、アメリカ国内の精液シェア率は約30%で世界各国にも輸出しているAI事業体です。また、CRIは世界市場をターゲットとしたグローバルな組織であり、変化する市場ニーズにあわせての改良と販売戦略を常に分析・検討しています。

今回、1ヶ月間にわたり各種CRI (Genex 注1) 業務に現場同行する機会とCRI・AITトレーニングスクールに参加する機会がありましたのでその概要を紹介します。

ウィスコンシン州Abbotsfordにて

Genexエリアプログラムコンサルタント(APC 注2)の日常業務に同行しました。担当酪農家の規模は様々で搾乳頭数30頭から1,000頭のCRI組合員を対象として活動しています。酪農家への訪問回数は年1回から10週に1回と様々です。彼らの主な業務内容は①営農指導、②交配相談(以下

MAP)の2つです。

営農指導では事前に訪問酪農家の乳検データ(DHI)を基に収益分析を行い各種レポートの作成を行います。そして酪農家に出向き、授精師・生産者と共に問題点(乳量・受胎率・分娩間隔・分娩難易等)を検討し、収益性UPのための方向性をアドバイスします(餌に関しては飼料会社が専門に行う)。

現在、CRI組合員の酪農家では牛群内で50%前後発情が見逃されていると言われていています。個体の栄養管理が行き届いていて、適切な繁殖プログラムを実行している酪農家でさえ、初回受胎率が50%に届かないのが現状です。これらの改善が酪農経営の収益増加につながることから、発情発見率と受胎率を向上させる牛群管理指導に時間をかけていました。



交配相談時の個体チェック



生産者・技術員とのミーティング

交配相談業務では『インデックスを上げ、長命性と生産性の向上』を交配相談の目的として、シヨウで活躍する個体づくりのためのMAPではない事を強調していました。また、北米においても我が国同様に近交係数上昇と分娩難易が問題視されている事から、それを回避できるCRIの交配相談をAPCに依頼する酪農家が増えているそうです。

MAPの作業は16箇所 の体型項目チェックと3つの2次形質について個体を見ながらハンディーターミナルにチェック結果を入力します。対象酪農家の乳検データ(DHI)を分析して能力の改良目標の設定を行い、近交回避をした結果を1雌牛に対して3頭の種雄牛を選定します。

体型チェックを行う規模は搾乳頭数60頭前後まで、それ以上の規模になると体型チェックは行いません(出来ません?)がCRI組合員で大規模酪農家の殆どがMAPを利用しているそうです。

今回訪問した酪農家のほとんどが少しでも長持ちする牛を必要としていました。これは大規模農家ほど顕著で慢性的に雌牛が不足している事が影響しています。

Genex・APCの現場指導では常に『CRIの乳牛改良目標は連産性に優れ、生涯乳量とライフタイムネットメリット(LNM 注3)に優れた個体と牛群作りを最終目標としており、それに対応できる種雄牛を数多く揃えている』事を強調していました。

余談ですが、「巨人の星」状態でした……

Genexのスタッフはオーバーブーツで仕事をするスタイルです。そのオーバーブーツとは普段履いている靴の上から履く『大きな長靴』でして、後に計ったら片足700gもありました。

装着初日には違和感はありませんでした。2日目の朝、何故かフクラハギが痛かったのですが原因はわかりませんでした。しかし、その夜の就寝中に足が攣るハプニングに見舞われやっと気づきました。『朝から晩まで(昼食時以外)700gのレッグアレーをつけて仕事している状態だ!』まるで星飛雄馬でした。3日目には筋肉痛、4日目には『すり足』で牛舎内を歩いていました。



このオーバーシューズが原因で…

CRI主催のAIトレーニングスクール

CRI・AIトレーニングは2週間に渡り開催され、その内、数日間の講習に参加することが出来ました。

AIテクニック指導では必ず左手を直腸に、右手で注入器を操作することを教育します。日本では卵巢の状態を確認してからの授精のため利き腕を直腸に入れる事を説明しましたら、『卵巢を触診するなんてクレイジー!』と言われました。それでも初回受胎率は50%前後あると補足説明すると『信じられない!』の連発でした。

乳用牛の改良についての講習時間も多く、『ライフタイムネットメリット(LNM)こそが乳牛改良評価指数のなかで最適のものである』、『CRIの理念は生産者の収益を最大にすることでありLNMが改良の柱である』、『雄・雌共にTPIやPTAタイプではなくLNMである。そして次に分娩難易・乳器・肢蹄』と徹底して教育します。また、授精技術よりもいかにCRIの商品が素晴らしく生産者に利益をもたらし、そして精液以外に関連商品を数多く売るほど自分にも利益が戻るシステムの内容も教育します。

トレーニングスクール最終日にはCRI-CEOのダグ・ウィルソン氏自らが『CRIグループの概要とアメリカ酪農の将来展望』と題した講演を行いました。

やはりここでも強調していたのは『生産者が必要としているのはLNM(プロダクション)である。そ

して次に分娩難易・乳器・肢蹄』。『近い将来、アメリカの評価成績をLNMに変えよう!』と力説していました。最終実技は3~4人でチームを作り模擬カスタマー(CRI職員)に対してのCRI売り込みテクニックテストを行って全日程を終了となりました。

今回はGenex現場授精師さんに同行編です。

(注1 Genex)

CRI組織の中で種雄牛生産・精液生産・交配相談・AI事業部門を担当している。

(注2 APC エリアプログラムコンサルタント)

全米で17名。それぞれの担当地区の酪農家(規模は様々)のDHIデータを基にReproduction for profit(収益UPのためのレポート)を作り生産者に出向く。収益分析を行いAI師・生産者と共に問題点を探り、今後の方向性をアドバイスする。また交配相談(MAP)業務もおこない、訪問先で空胎牛をチェックしてその個体に対してCRI種雄牛・ヤングサイアの推奨もする。

(注3 LNM ライフタイムネットメリット)

- ・牛群の収益性に影響を及ぼす様々な形質から算出される。
- ・LNMで収益性の改良能力を推定できる。
- ・LNMを構成する形質(泌乳形質55%・管理形質31%・体型形質14%)

(道央北事業所 小林 英聡)



Genex・AI講習会の模様



ある牧場では古いトラクターが大切に保存されていました。

(社)ジェネティクス北海道が開催した標記講習会(17.10.31~11.16)の修業試験に、次の方々合格されました。今後ますますのご活躍を期待申し上げます。

阿部 正寿	奥秋 陽子	菅田 喜之	鈴木 朋子	矢野 雄一郎
伊藤 恵美子	小野寺 雅	橋井 大樹	長尾 武範	山崎 元弘
稲葉 朋之	角川 正剛	小林 央知	永瀬 舞	吉岡 勇気
井上 千穂里	掛川原 弘典	柴田 直紀	藤井 智之	若森 隆浩
上野 磨耶	加藤 貴仁	杉山 憲由	星 昌一	渡部 晋三

(敬称略・順不同)

次のとおり開催しますので、受講を希望する方は受講願書及び履歴書等を提出してください。

- 開催者: 社団法人ジェネティクス北海道
- 期 日: 平成18年6月26日(月)から7月20日(木)まで (日曜日を除く22日間)
- 場 所: 財団法人清水町農業振興公社 上川郡清水町字御影南2線77番地(Tel 01566-3-2011)
- 講習時間: 学科 66時間 実習 74時間 計140時間
- 修業試験: 平成18年7月20日(木)及び21日(金) (場所は講習会会場と同じ)
- 受講資格: 牛に係る家畜人工授精師の免許を取得しようとする方で、家畜改良増殖法第17条の規定に該当しない方(別記を参照してください)。
- 受講人員: 30名程度(希望者が多数の場合は、次により受講者を選考します。)
 (1)一 般(選考諮問)
 出題範囲は、①畜産に関する一般常識 ②中学校、高等学校における生物の教科。
 (2)推 薦(書面審査)
 家畜人工授精事業を実施している農業協同組合又は農業共済組合等に勤務する職員で、業務上早急に免許取得が必要な方。(例:人事異動などによって、人工授精師の欠員補充が必要となった場合等)
- 受講手続: **受講願書**(別記様式)及び**履歴書**(市販様式)を、(社)ジェネティクス北海道理事長に提出してください。
 ・履歴書の写真は本人と確認できるものに限り、
 ・履歴書に受講を希望する理由を具体的に記載してください。
 ・上記7の(2)に該当する方は、業務上免許取得が必要となった理由を記載した組合長の**推薦書**を添付してください。
 ・提出期限は**平成18年4月28日(金)必着**とします。
- 受講料: 60,000円(宿泊費等は含んでおりません)
- 選考試問: 実施期日及び場所は別途連絡します(5月下旬、札幌市及び清水町を予定)。
- 受講許可: 受講許可通知書を本人あてに郵送します。
- 宿泊場所: 希望する方には、紹介します。
- その他: 受講願書等の送付先及び照会先は右のとおりです。

社団法人 ジェネティクス北海道・生産部
 〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1 北農ビル
 [Tel 011-242-9644, Fax 011-242-9651]

別記

家畜改良増殖法第17条の規定

(家畜人工授精師の免許を与えない場合)

第17条 成年被後見人又は被保佐人には、前条第1項の免許(注:家畜人工授精師免許)を与えない。

2 次の各号のいずれかに該当する者には、前条第1項の免許を与えないことができる。

- 心身の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うことができない者として農林水産省令で定めるもの
 (家畜改良増殖法施行規則第26条の2)
 ア 視覚、聴覚、音声機能もしくは言語機能又は精神の機能の障害により……(略)
 イ 上肢の機能の障害により……(略)
 - 麻薬又は大麻の中毒者
 - 家畜伝染病予防法、種畜法、業事法、獣医師法、獣医療法もしくは家畜商法又はこれらの法律に基づく命令の規定に違反し、罰金以上の刑に処せられた者
 - この法律(注:家畜改良増殖法)又はこの法律に基づく命令の規定に違反した者
- 3 (略)

受講願書様式

受 講 願 書

平成 年 月 日

社団法人ジェネティクス北海道
 理事長 矢野 征男 様

所 属
 本籍地(都道府県名)
 現住所

氏 名 ①
 昭和・平成 年 月 日生

牛に係る家畜人工授精に関する講習会を受講したいので、関係書類を添えて提出します。

[日本工業規格A4横書]

カナダにおける ヤングサイアの後代検定の効率

B.V.Doormaal、カナダ酪農機構部長
(ホルスタインジャーナル10月号、'05)

訳 帯広畜産大学名誉教授 光本孝次

happy new year



4年の歳月の後に検定済種雄牛を造るヤングサイアの後代検定という基本構図は、後代検定が40年前に導入されて以来、そんなに変化していないが、後代検定プログラムのデザインや効率は著しく向上している。カナダ酪農機構(CDN)の最近の調査により、カナダにおけるヤングサイアの後代検定の最近の情勢と傾向が明らかになった。

カナダでは、毎年約400頭の全品種の乳用ヤングサイアが後代検定プログラムに組み入れられる。その約90%はホルスタイン種(約360頭)である。

CDNの分析には、各年次の後代検定プログラム1994年から2004年までのカナダで検定された1,700頭以上のヤングサイアを使用した。

検定用に精液を採取したときのヤングサイアの平均年齢は1.6歳で、最初の6か月間に1,200本以上が授精に用いられた。

過去7年間では、約46%は初回授精に使用され、24%は2回目、30%は3回目かそれ以上となった。

近年では、検定用雌牛の85%は血統登録牛で、10%は未経産雌牛である。傾向としては、ヤングサイアの未経産雌牛に対する授精の比率は1998年の15%から2004年の9%に徐々に低下し、初回授精にヤングサイアの使用は1998年の50%から2001年には45%に低下していた。

これらの傾向はヤングサイアの後代検定プログラムの効率にはマイナスとなる。なぜなら、授精が未経産雌牛から経産牛に移行し、また、初回授精から2回目以上になれば、1ヤングサイア当たりの娘牛頭数の低下をもたらすからである。

分娩難易性のデータは、ヤングサイアを使用し

ている全ての牛群で牛群検定によって記録されないが、1ヤングサイア当たり約250頭の産時の記録は精液配付から18か月以内に報告されている。この中で、94%は精液配付から12か月以内で、ヤングサイアの精液が迅速に授精されている証拠であり、そして子牛の誕生日の範囲を狭めている。娘牛として生体で分娩した46.5%はこの分類に入り、性比や死産などの記録が得られる。

ヤングサイアの生存娘牛の平均頭数を知る別な目安は血統登録である。何故ならば、殆どのヤングサイアの後代検定プログラムでは有資格牛群のみに精液を配付している。有資格とは血統登録、乳生産記録、体型の審査、そして遺伝的評価に対する貢献となる。各ヤングサイアは平均して150頭の血統登録娘牛を持っている。

カナダでは、ヤングサイアの娘牛の追跡は誕生から2年後の初産間で困難な場合がある。ある個体は死亡や繁殖不能のような生物学的理由で失われる。かなりのヤングサイアの娘牛が乳牛以外の目的に向けられたり、カナダの遺伝的評価に貢献しない外国の牛群に販売されたりする。米国市場への輸出によるヤングサイアの娘牛の消失はヤングサイアの後代検定効率にかなりの影響を持っていたが、この分析に含まれた種雄牛の殆どでは2003年のBSEによる国境閉鎖前なので関連はなかった。



ヤングサイアの後代検定プログラムの最終段階は、産乳形質と他の多数の形質に対する最終評価値に娘牛を取り込むことである。この分析では、常に公正な比較を期する為に、検定用精液配付から5年後の各種雄牛の評価値に関連した娘牛頭数を、ファーストクロップの娘牛群とした。

一般に、これは、初回成績公表後、およそ5回評価値を出したときの頭数に相当した。それら評価時の平均娘牛頭数は産乳形質では101頭、体型では90頭、母方分娩難易性では111頭、搾乳速度と気質では62頭となった。

産乳形質と体型形質の両方の記録を持つ娘牛が90% いるということは他の国と比較しても顕著である。近年では、搾乳速度と気質に対するデータを集積しているので、さらなる遺伝的改良が期待出来る。

ヤングサイアの後代検定プログラムの効率を測るのに使われる総合的な数値として、比率がある。

カナダでは、5年後に種雄牛評価値を出すのに、検定時1雌牛当り、平均11.4回の総授精が必要となる。初回授精に関しては、ヤングサイアの評価値に含まれた1娘牛当たり5.5の授精回数となる。

特に興味深い数値は、ヤングサイアの評価値に含まれていて最終的に登録簿に記載された娘牛は3分の2のみである。1.5対1というこの比率(登録娘牛頭数対評価値に含まれた娘牛頭数)はこの分析の3年間は変化しなかったが、遺伝的評価に含まれない娘牛数の減少が伺える。この問題は各種雄牛当たりの娘牛頭数(評価値の精度を向上させる)を出来るだけ多くしたいAI事業体と同様に酪農家にも広く関心のもたれるものである。

要約

カナダは泌乳記録を持つ雌牛の頭数に対して、ヤングサイアの検定頭数を最大化している国として国際的に知られている。この後代検定プログラムの効率を高く維持する為に、最近の情勢と傾向を把握していることは重要である。

近年、ヤングサイアは平均16か月齢で検定プログラムに入り、平均年齢5年未満で初回の公式評価値を持つことになる。検定期間内に約1,200頭の授精により、血統登録された平均150頭の娘牛を産出していて、各種雄牛の産乳形質評価値には100頭の娘牛が含まれる。

ヤングサイアを初回授精に使用したり、若雌牛に授精したりすることが、消極的になると、総合的に後代検定の効率が低下すると認識すべきである。留意すべきもう一つの問題は、初産記録を持ちながら遺伝的評価に貢献できなくなる、即ち、血統登録された後に娘牛が失われることである。

サイアトピック(乳牛)

JP3H52282 アブナー

“アスペン EX-92”ファミリーからの好体型BULL



血統

- ♀ パトリック オーチャード MW アビー ET EX-93 (父:メルウード) 写真2
- └─♀ デイクシーリー アスペン ET EX-92 (父:マスコット) 写真4
 - └─♂ デイクシーリー アーロン (父:ルーク)
 - └─♀ デイクシーリー ウイン アプリ ET VG-88 (父:ウインチエスター) 写真3
 - └─♂ **バンマーク エマーソン アブナー ET (父:エマーソン) 写真1**



アブナーは2005年11月の種雄牛評価成績にてNTP全国第11位にランキングされているエマーソンの息牛です。

母系はマスコットの代表娘牛として知られている“デイクシーリー アスペン EX-92”のファミリーであり、当ファミリーからはデイクシーリー アーロンをはじめ、好体型の子孫が世界中に繁栄しています。

母アプリもその1頭であり、計画交配当時まだ未経産牛だったアプリは、デイリーキャラクターに富み、肋腹の充実した若雌牛でした。若干、曲飛びみの傾向にあったことから、肢蹄の改良に貢献していたエマーソンを交配し、アブナーを生産しました。その後、母アプリは理想的な乳器を備えエリートカウとしても活躍しております。

アブナーの娘牛は鋭角性に富み、乳器は付着がよく、特に後乳房の幅と高さに優れているのが特徴で、ファーストクロップの娘牛であるクレスト レスポ エマーソン アブナー(苫前町 中島 隆司氏 所有)が3歳2ヶ月で決定得点88点(乳器88点)を獲得しています。

交配には胸の幅があり前駆の力強さと体の深さを伝えるジエスロの娘牛等との交配を推奨します。



娘牛:クレスト レスポ エマーソン アブナー(88.0)
苫前町:中島 隆司氏 所有 母の父:レイマウボンド オーク マーテル ET

サイアトピック(肉牛)

H黒-45 東龍

純血種、交雑種でも大活躍!!

H黒-45 東龍

黒12604 80.8点 平成6年5月18日生 三重県産

第7糸桜

安福

第9はなのき

第2ふじみのり

茂富士

平成17年度全国肉用牛枝肉共励会

交雑種において*最優秀賞受賞!!



肥育者:静岡県 佐藤 正彦氏
枝肉重量:571kg ロース芯面積:58cm²
BMS:9 格付:A-5



2005 10 28

*第1部 乳用去勢牛及び交雑去勢牛

好体型"ヒラリー"ファミリー



トツブドリーム

ヘンカシントツブドリーム ET^{TL/TV}
テスクテリー × メイソン × ホリデー

- 乳代効果・乳量・SNF量 全国第1位、P量 全国第2位
- 母"ホワイトメイソン"はNTP全国第1位

総合指数	+1,906	乳代効果	+160,997円	得点 +0.45	特質 +0.31	頭数/牛群	30/29
EBV.M	+2,345kg			外貌 -0.69	体積 +0.61		(66%R)
F	+44kg	-0.43%		肢蹄 -0.13	乳器 +0.65	難産出現頻度	0.00%
SNF	+183kg	-0.21%	頭数/牛群			分娩難易	---
P	+55kg	-0.19%	33/31			気質	101
			(78%R)			搾乳性	100
						2産以上	0/87
						体細胞スコア	2.51

■ パイン TD クリンクル

富良野市/三好 孝行氏 所有
母の父/ジユニパー ローテート ジエツト ET



初産



2産

■ ビューティートツブドリーム

帯広市/道端 宏明氏 所有
母の父/ケーイーティージャラー ET



初産



2産

H黒-96

北茂勝96

茂勝

ぜんおく6

茂重波

ぜんおく

奥秀

黒13238 82.3点

平成11年2月16日生 岩手県産

バラの厚さ 上物率71.4%

肋張り、肩付に優れた茂勝息子牛

提供：(社)北海道酪農畜産協会

育種価	枝肉重量		コース芯面積		バラ厚		皮下脂肪厚		歩留基準値		脂肪交雑		近交係数 %	頭数
	育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度		
	-0.167	0.928	6.696	0.912	0.650	0.902	0.053	0.923	1.310	0.922	1.712	0.924	18.8	27



肥育者：JA上士幌肥育試験センター
母の父：栗富の10 枝肉重量：509kg
コース芯面積：70cm² BMS:12 格付:A-5



肥育者：JA上士幌肥育試験センター
母の父：谷水 枝肉重量：444kg
コース芯面積：75cm² BMS:9 格付:A-5

各地の新鮮な情報をお届けします!!

事業所だより



道央北事業所

新年、明けましておめでとうございます。本年も道央北事業所一同、宜しくお願いいたします。昨年10月より、道央北事業所に期待のニューフェイスをご紹介します。

名前:山口 春奈
出身:埼玉県
生年月日:1982年3月26日
趣味:ドライブ・
部屋でのんびり



皆さんへメッセージ:

まだまだ迷惑ばかりかけている私ですが、この業界で働けることを本当に嬉しく思います。皆様のお役に立てるようになるには時間がかかりそうですが、精一杯頑張りますので宜しくお願いいたします!

十勝北見事業所

全国の皆さん明けましておめでとうございます。

今回は事業所のエリア内を走る『ふるさと銀河線』について紹介したいと思います。

この鉄道は1989年6月に、池田町、本別町、足寄町、陸別町、置戸町、訓子府町、



北見市を結ぶ、北海道ちほく高原鉄道株式会社『ふるさと銀河線』としてスタートしました。2001年には「SL銀河号」を運行し、2002年11月には銀河鉄道999の作者松本零士氏がデザインしたラッピング車両を登場させるなど、鉄道ファンのみならず、各方面から注目を集めています。しかし、高校生の通学やお年寄りの通院など地域住民の足としての役割を果たしてきたふるさと銀河線ですが、利用者数は年々減少し続けており赤字経営となっているため、近く廃止が予定されています。

確かに車で移動は便利ですが、廃止前にぜひ一度『ふるさと銀河線』に乗ってメテル・鉄郎と一緒にのんびり銀河への旅をしてみませんか?

道東事業所

根室管内JA標津振興課で人工授精師をしているニューフェイスをご紹介します。

H17年4月からJA標津に人工授精師として採用されました宮島 望です。牛が好きで人工授精師になろうと想い九州から北海道にきました。

職場では先輩方、酪農家の皆さん方々からご指導をいただき日々勉強をしています。

これからは信頼される人工授精師になれるよう努力していきますのでよろしくお願いいたします。



広域事業所

あけましておめでとうございます。今年もジェネティクス北海道をよろしくお願いいたします。

暖冬・暖冬といわれていたこの冬の始まりは、日本海側を中心に荒れ模様で、この文書を鳥取県の海の見える場所から書いていますが、波の高さと雪の多さは北国の日本海側に似ています。このままいくと雪は何メートル積むのでしょうか? 被害が少ないことを願っています。

昨年はホルスタインの全国共進会、黒毛和種の東日本共進会と大きなイベントが続きました。今年は全国的なイベントは少ないですがこういう時こそしっかりと基礎固めを…。少しでもそのお手伝いが出来ればと思っております。

今年もよろしくお願いいたします。

業務部

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

最近、酪農畜産においては実質的な生乳生産調整や米国産牛肉の輸入再開など逆風が一層強くなる様相を呈しておりますが、今年もジェネティクス北海道は少しでも皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

私どもに対するご意見、ご要望、お問い合わせ等、お気軽にお申し付けください。